

6月例会報告

6月例会は、6月19日（木）岡山県生涯学習センター大研修室にて開催、開会時刻は予定の午後6時より10分遅れで始まり、土田代表幹事の挨拶、各委員会の報告が行われました。今回より、賛助会の連絡事項（催し物）等があれば、例会にて報告する時間を設けることとなり、2社より報告がありました。

例会報告後の講演会は「岡山建築設計クラブ」と「JIA中国支部岡山地域会」の共催で『木の力』と題して、(株)ウッディエノダ顧問の米田弥寿雄氏にお願いしました。



講師の米田氏は昭和7年生まれの82才、さすがに木のことは知り尽くしている、木の長所短所、広葉樹は根元からカンナ掛け、柱は芯が中央にあるものを選ぶ、一本のみの大樹はあまり良い物は無い等々。また、薬師寺の修理を手掛けた西岡棟梁の依頼で、樹齢千年物の木を集めた時の苦労話などのお話をして頂きました。沖縄の首里城の門についても、昔は地元材のイヌマキを使用していたが、戦争で焼けてしまい無くなってしまった。そこで台湾より材料を仕入れたのが半数は返品されたとのことでした。講演の中で私が特に興味を持ったのは、木の並びで「左始まりで根元、右側が先」とするのが順木で、長押でも根でも左が元で、右側に先を向けるということでした。

年齢を感じさせない講演で、一時間もアツという間に過ぎてしまいました。その後、質疑応答があり、齊藤副代表幹事より謝辞が述べられました。

今回の参加者は61名でしたが、講演を聞いた方々には有意義な時間であったように思います。

テーマ交流委員長 於東 利夫



写真 「お気に入りの建築物」

運動公園内にあったPool houseです。私が小学生だった40年以上前は、入場料大人30円こども15円だったと記憶しております。



第25回学校との懇談会報告

去る、6月7日（土）13時30分より16時まで、「第25回学校との懇談会」が岡山県生涯学習センター大研修室で開催されました。今回は、10校の参加で、学校側先生10名、学生・生徒23名、OKC側18名の、合計51名の参加者でした。

出席者の紹介、OKC側の報告等に行き、今回も、参加者を5テーブルに分けて、グループ懇談の後、全体会に移り、各テーブル懇談内容発表、質疑応答の形で進められました。

また、参加のOKC正会員の施設設計図書、竣工写真等や賛助会員有志の会社案内も自由に見てもらったこともできるようなしました。

学生・生徒からの「設計事務所に就職したいがどうしたら良いか？」「なぜ、建築設計の仕事に就いたのか？」「建築設計の仕事の魅力は？」「在学中に学ぶべきことは？」「東京で就職したいが価値があるのか？」等の質問に対して、OKC側の出席者が丁寧に答えて行きました。

グループ懇談は、学生・生徒が話しやすいということで、実施しているのですが、活発な発言が出たようです。また、全体会でも、OKC側の参加者より、実体験を踏まえた深い内容の話が聞けました。学生・生徒さんには、多くの収穫があったと思われる、充実した会になりました。

事業委員長 大垣 克己



「倉敷市立美術館(旧倉敷市庁舎)」

1958(昭和33)年、倉敷市庁舎として建設された。設計は丹下健三氏で、そのコンセプトは「倉敷の伝統と近代的発展、しかも市民のよりどころになるにふさわしい建物」であった。屋上は野外コンサートも可能な市民広場としても計画され、そこから見える倉敷は、白壁の伝建地区とは打って変わった都市風景として、その広がりを見せている。



建球会報告

第44回岡山建築設計クラブ建球会ゴルフコンペが参加者26名で、平成26年5月15日「東児が丘マリリンヒルズ」にて盛大に開催されました。



見事優勝したのは金谷庸一さん(コクヨ 陽四国販売)でした。『ハンデに助けられた』が優勝の弁！



優勝 金谷庸一 48 (HDCP 31) (NET 65・0)

タニコー株式会社 佐藤 健治

今回出席できなかった正会員・賛助会員様からも多数の協賛品を頂き、表彰式では全員に豪華賞品授与が行われ歓談の後解散となりました。秋開催につきましても是非、ご参加のほど宜しくお願い申し上げます。



「広島銀行岡山支店」 (真魚丸)



「家のトンネル」

商店街から一本入った路地の上部に民家が…奥の民家も軒が長く、家のトンネルを貫ける路地でした。